

「極限状態のストレス対処」

～東日本大震災における自衛隊の精神的ケア～

日 時 2026年10月18日(日)13時20分～14時30分

会 場 L'AUBE(ローブ) (土浦市川口2-11-31)

講 師 高橋吏良 筑波大学広報局 国際会議推進部門長 特任准教授
元NHKニュースキャスター、元テレビ大阪報道記者
慶應義塾大学SFC研究所上席所員、Emisicologia代表

東日本大震災で被災地の支援活動に携わった自衛隊員の惨事ストレスケア、臓器移植医療におけるレシピエントやドナー、ご家族への心理支援、航空機パイロットへのメンタルヘルス支援等に携わってきました。共通しているのは、「極限状態のストレス」に直面する人々への支援です。災害支援や惨事ストレスケアの分野で活用されるストレス対処モデルを紹介しながら、人が困難な状況をどのように乗り越えていくのかを考えます。



高橋吏良(りら) プロフィール

京都市出身。同志社大学文学部心理学専攻を卒業。テレビ局で報道部記者、NHKニュースキャスターを担当、メディアでの取材を通じて精神的なケアに関心を持ち、臨床心理士資格を取得。海上自衛隊にメンタルヘルス専門の自衛官として入隊、カウンセリングや隊員の心のケア、東日本大震災における惨事ストレスケア、メンタルヘルス教育等を行う。2013年からは筑波大学大学院医学医療系災害精神支援学助教、大阪大学大学院、防衛医科大学校、浦和大学等で心理学の教育、研究、臨床に従事。2023年より、筑波大学においてメディア対応等、広報を担当。

学位は、慶應義塾大学大学院において博士号(医療マネジメント)を取得。第84回日本心理学会、第85回日本心理学会大会優秀発表賞、第51回日本臨床腎移植学会メディカルスタッフ研究優秀賞受賞。日本心理学会メディア心理学研究会、日本心理学会パイロットおよび航空業務に携わるスタッフのメンタルヘルスに関する研究会代表を歴任。